

令和4年度一般社団法人鳥取市観光コンベンション協会事業計画

I 令和4年度事業方針

鳥取県内の新型コロナウイルス感染者数は、昨年暮れから感染者数が急拡大し、昨年秋以降、徐々に回復していた鳥取市への観光客数も、今年に入って急減しておりましたが、国や鳥取県が行動制限緩和の方向を打ち出したことにより、観光客数も徐々に回復しております。いずれにしても、新型コロナウイルスの感染収束には時間がかかると見られております。

令和4年度の事業は、コロナ収束後を見据え、感染防止対策をとりながらウィズコロナで事業を推進していきます。

まず、令和3年11月に刷新した協会ホームページを活用し、地域の魅力と情報発信を強化します。気軽に乗れるレンタサイクルの観光コース、ループ麒麟獅子バスや100円循環バスくる梨を利用したコースなど、既存のコースと共に新たなコースを造成し発信します。また、地域の観光関係者と連携した観光資源の発掘、フォトコンテスト応募作品や他団体と連携した写真の活用により、ホームページの特集等を充実し、誘客促進に努めます。さらには、麒麟のまち圏域の周辺6町の観光情報を協会ホームページで発信することにより、周辺の観光情報との相乗効果で閲覧数の増加を図り、誘客に繋がります。

また、歴史雑誌で鳥取城が最強の戦国山城第一位となったことから、全国的に鳥取城跡に注目が集まっています。鳥取城跡とともに、これまで観光資源としての価値がありながら、あまり光が当たっていなかった鳥取藩ゆかりの施設などを組み合わせ、鳥取市と連携して鳥取城跡周辺及びまちなかの賑わいづくりに取り組みます。具体的には、鳥取市が取り組む鳥取城跡のライトアップ、Wi-Fi整備にあわせ、鳥取三十二万石お城まつりと連携し、新たな賑わいイベントやモニターツアーを造成することとしています。

鳥取しゃんしゃん祭振興会は、令和2年度、令和3年度と新型コロナウイルスの影響により通常開催ができていない鳥取しゃんしゃん祭を、今年度、中心市街地及び観客と祭りを繋げる取り組みをされます。8月13日に前夜祭が中心市街地で、8月14日に一斉踊りがヤマタスポーツパーク陸上競技場で、それぞれ観客を入れて行われます。鳥取市の夏の一大イベントである鳥取しゃんしゃん祭に積極的に協力することとしています。

麒麟のまち観光局等と連携し、新たな商品づくりや滞在型観光の実現に向けた事業に取り組みます。日本遺産「麒麟のまち」推進協議会は、圏域外への情報発信による誘客と併せて、圏域内住民の関心喚起や意識高揚の取り組みが必要になっており、その取り組みの一環に協力することとし、日本遺産モニターツアーを企画造成及び催行を行うこととしています。また、麒麟のまち観光局が滞在型観光の実現に向けて行う歴史的資源を生かした観光消費拡大事業に協力します。

地元物産の振興に関しては、昨年度製作し、販売開始した地元物産のカタログギフト「TOTTORI CHOICE」の販売促進、鳥取市ふるさと物産館の公式SNSを活用したSNS投稿プレゼントキャンペーン、さらに、昨年度に売り上げ1億円を超えたインターネットショップ「とっとり市」は、30%OFF・送料無料等を、年間を通してキャンペーンを実施することで、昨年度以上の売り上げを目指します。

II 協会組織ビジョン

『協会組織ビジョン』

意思決定の基礎となるもの

- 行政及び民間に深く信頼され強く影響力を持ち、地域の関係する事業者を支える中心的存在となることを以って、地域全体の活性化に貢献する。

『ミッション』

何のために存在するのか 誰にどんな価値を提供するのか

- 常に公の利益の最大値を追求するために、変化に柔軟に対応し、変化にスピード感ある事業展開できる組織になる。
- 民意を反映させるために、会員の声を集約する仕組みを確立するとともに、会員の代表である理事は、その立場を理解した上で透明性ある意思決定機関において、スピード感ある決定と行動を実践する。
- 会員や理事と職員の交流を行い、事業の実施前、及び成果検証の際には、直接業務に関わる職員の意見も反映させる。

『バリュー』

このまちを訪れるひとたちのために
このまちのために
会員の幸せのために
ここで働くひとたちの幸せのために

ビジョンを達成するための行動計画

1 事業評価の実施

- ①P D C Aサイクルによる事業評価の実施
- ②職員の意見の反映
- ③事業評価に基づく次年度事業計画の作成
- ④既存事業に係る鳥取市への意見・提案

2 関係他団体との連携

- ①意見交換の実施
- ②他団体と連携した事業の実施
- ③関係団体と共同で鳥取市観光ビジョンの策定

3 鳥取市との連携強化

- ①意見交換の実施
- ②政策の提言

4 会員の声を集約する仕組みづくり

- ①意見交換の実施
- ②会員勧誘の実施
- ③会員へ積極的な情報提供

5 働きやすい職場づくり

- ①財政見通しに基づき正職員登用制度等の実施
- ②同一労働同一賃金に基づく待遇の検討
- ③適正な人事評価の実施
- ④職員研修等によるスキルアップ

Ⅲ 事業計画

【企画造成・地域活性化】

目的と概要

観光需要の回復を見据え、地域内外からの観光客の満足度向上のため、良質な地域の文化や景観や産物などを生かした企画や提供に努める。そして、麒麟のまち観光局をはじめとする観光関連団体と連携し、明確な役割分担を行い、ターゲットを絞り観光商品の磨き上げや新たな商品造成を行います。

そのほか、麒麟のまち観光局とは定例の連絡調整会議を設置し、相互協力を行います。

(1) Gバスの運行と企画検証

地域外からの観光客と、地域の観光や物産をつなぐツールとして造成し、参加者からの満足を獲得できるツアーを企画します。また参加者や関係団体からの聞き取り、アンケート等により次年度の運行に繋がります。

＜鳥取県東部の観光地を巡る鳥取・因幡「Gバス」の運行内容＞

料金：ジオコース 大人6,000円、小中高生4,000円

鳥取西・東・南コース 大人5,000円、小中高生3,000円

コース	行程	運行回数
ジオコース	鳥取砂丘、砂の美術館、かろいち、白兔神社、浦富海岸島めぐり遊覧船を巡るコース	7月から10月の土曜日に運行（計10回）
鳥取西コース	気高町、鹿野町、青谷町を巡るコース	（計2回）
鳥取東コース	国府町内を巡るコース	（計2回）
鳥取南コース	佐治町、用瀬町、八頭郡八頭町を巡るコース	（計2回）

(2) まちなか観光（城跡周辺賑わいづくり）事業に関する企画造成

事業の継続と発展を考えながら取り組みます。お城まつりや関連する団体との連携を視野に入れて事業の効果拡大に努めます。

・モニターツアーを実施

（実施案）石垣探検ツアー、座禅と煎茶手前を楽しむツアー

・秋の週末賑わいイベントを実施

鳥取市が実施する城跡ライトアップと連携して、城跡周辺での賑わいイベントを実施

・城跡周辺及びまちなか観光ガイド養成講座の実施

養成講座参加者の中から、まちなか観光ガイドをしていただくガイドグループを創設

(3) モデルコースの造成

鳥取駅周辺のまち歩きや二次交通を活用した既存のモデルコースを活用するとともに、観光客が満足する新たなモデルコースを造成していきます。

圏域内のスポットを巡る日本遺産のストーリー性を考慮した麒麟獅子舞鑑賞付きの日帰りバスツアーを実施します。

(4) ループ麒麟獅子バスの運行と検証

二次交通の価値を高めるため、利便性向上に関する検討や提案を行います。

＜鳥取観光バス「ループ麒麟獅子バス」の運行概要＞

運行日：土・日・祝（元日を除く）・振替休日・お盆（8/13～15）に運行

料金：大人300円、小人150円、一日乗車券600円

コース：鳥取駅、鳥取城跡、鳥取砂丘、賀露等を周遊

その他：車内Wi-Fi利用可、PayPay・LINE Pay・Alipay利用可

(5) レンタサイクルによるまちなか観光

鳥取駅高架下第2自転車駐車場で普通自転車及び電動アシスト自転車の貸出を行います。レンタサイクルはまちなか観光の有力交通手段であることから、レンタサイクルを活用したまちなか観光コースの種類を増やし、観光客への利用促進を図ります。

(6) 観光ガイド育成

ガイドの抱えるさまざまな課題を整理し、行政と共有及び対策を行います。

<具体的な内容>

各ガイド団体への助成および情報発信

観光ガイド団体への保険加入やガイドに必要とする資材等への助成

ガイド団体を実施するイベント等への情報発信

ガイド研修会の開催

鳥取市外で活動しているガイド団体との意見交換会等を実施

(7) 観光メニュー作成

国、県等の補助金等を活用した新規事業に取り組みます。取り組むにあたっては、協会会員や観光に関する諸団体と連携して新たな観光メニューの作成に努めます。

(8) 物産振興に寄与するメニュー作成

観光商品の造成にあたっては、物産振興に寄与する取り組みについても検討します。

(9) フォトコンテスト開催と写真素材の活用

地域の風景や文化の素材開発を活かすためにフォトコンテストを実施します。

<フォトコンテストの内容>

応募期間：令和4年4月1日から令和5年1月31日まで

審査対象写真：令和4年1月1日から令和5年1月31日の間に撮影されたもの

テーマ：魅力あふれる鳥取市

賞：最優秀賞 1点 30,000円

優秀賞 1点 20,000円

会長賞 1点 10,000円

鳥取市経済観光部長賞 1点 鳥取和牛ステーキ (10,000円相当)

審査員特別賞 1点 鳥取市産品詰合せ (10,000円相当)

佳作 1点 鳥取県産米 (5,000円相当)

フォトコンテストの応募作品を今後の企画造成や広報活動に活用します。

(10) 地域活性化事業

合併協定に基づいて地域の事業へ助成します。助成対象事業は、次のとおりとします。

- ・宝木海岸施設整備事業（気高町観光協会）
- ・鹿野桜祭りモルタルアート事業（鹿野桜まつり実行委員会）
- ・伝統行事の伝承事業（北村老人クラブ）
- ・国府フィッシングフェスタ（国府フィッシングフェスタ実行委員会）
- ・雨滝滝開き祭、扇ノ山山開き祭（国府町観光協会）
- ・吉岡温泉ホテルまつり事業（吉岡温泉ホテルまつり実行委員会）
- ・賀露白いか祭り（賀露白いか祭り実行委員会）
- ・鳥取市河原町あゆ祭宣伝事業（あゆ祭企画実行委員会）

- ・福部町梨狩りキャンペーン事業（浜湯山果実組合）
- ・砂丘ビーチ砂もり大会（砂丘ビーチ砂もり大会&砂像コンテスト実行委員会）
- ・伝統行事の伝承活動事業（片山老人クラブ御子岩会）
- ・青谷町観光ガイドマップ制作（青谷町観光協会）

（11）鳥取市観光大学の運営

鳥取市観光大学の確実な運営を行い、鳥取観光マイスターの資格取得者を増やし、地域をあげての観光客のおもてなし文化の醸成に努めます。また、本年度の大学事業終了後は、その効果を検証し、積極的な提案を行います。

（12）鳥取しゃんしゃん祭・鳥取三十二万石お城まつりの活用

鳥取しゃんしゃん祭は、前夜祭を8月13日、一斉傘踊りを8月14日に開催し、鳥取三十二万石お城まつりは、9月に時代行列などを中心市街地で開催します。それぞれの祭りに協力します。

鳥取市知名度アップ事業などでは、事務局をもつ鳥取しゃんしゃん祭、鳥取三十二万石お城まつりなどのイベントを活用し、地域の魅力アップに寄与するための手法を検討します。

【広報活動】

目的と概要

旅行会社向けと観光客向けに効果的な広報活動に取り組むとともに事業内容を検証します。また、関連組織と連携した誘致・誘客活動を積極的に行っていきます。

他団体と重複している業務を把握し、効果的な広報となるよう検証します。

（1）B t o B 広報

関西圏等の観光プロモーターと連携して、県外の旅行会社等への営業や鳥取県観光情報説明会への出席など、協会の旅行商品や会員の商品の紹介を行います。

（2）コンベンション誘致事業

とっとりコンベンションビューローと連携し、大学等へ定期的な営業活動を行います。またコンベンション開催誘致への研究及び発信を行います。

鳥取市内で開催される中国大会以上のコンベンション、スポーツ大会の開催に対して、開催経費の一部を助成します。

鳥取市内に宿泊して合宿する団体に対して、経費の一部を助成します。

（3）SNSでの広報

企画造成で作られた観光メニューをFacebook、Instagram、Twitterを活用し発信します。

（4）ホームページでの広報

昨年11月にリニューアルし、アクセス数が増加している協会ホームページ（鳥取市観光サイト）を活用し、企画造成で作られた観光メニューを鳥取市観光サイトの特集ページやモデルコースとして発信します。

（5）ポスター・パンフレットによる広報

鳥取旅時間、鳥取市街地マップ等のパンフレット等を製作、各所へ配布し誘客へ繋がります。

（6）イベントによる広報

協会が事務局を持っている事業や協会が関わっているものは、姉妹都市で開催されるイベントなどを活用して、その魅力を発信します。

桜の開花に合わせて鳥取城跡・久松公園および袋川土手へのぼんぼり・照明の点灯を行い、観光客向けに発信します。

(7) 他団体との広報連携

鳥取県観光連盟や麒麟のまち観光局等と連携した広報を戦略的に行い、誘客促進に取り組みます。

【観光案内】

目的と概要

観光客の利便性向上のため鳥取市の玄関口としての顔を持つ鳥取駅構内の鳥取市観光案内所は、観光案内専門職員による充実した対面案内を行い、鳥取市ふるさと物産館においても来客の求めに応じた対面案内を行います。また、案内にあたっては、企画造成、広報、物産等、協会の取組みを広報し、観光振興に寄与します。

観光案内の充実を図るため、観光案内所と鳥取市ふるさと物産館のほかに、会員などとの連携により案内機能の拡大を目指します。

(1) 観光案内所やふるさと物産館での観光案内・情報提供

来客への観光案内や市内の宿泊施設の紹介を行います。

(2) 観光案内所でのレンタサイクル・ベビーカー貸出広報

鳥取駅駐輪場で普通自転車および電動アシスト自転車の貸出を行っているレンタサイクルの紹介をします。

鳥取市が行っているベビーカーの貸出に協力します。

(3) 観光案内所での各種チケット販売

ループ麒麟獅子バスの案内及び一日乗車券、鳥取砂丘砂の美術館入場券等の販売を行います。

(4) 観光案内機能の拡大に向けた取り組み

観光案内機能の拡大を目指すため、市内の観光案内の全体像を把握した上で、砂の美術館や道の駅等の観光施設に観光案内機能を拡大・充実できるようにすすめます。

【物産振興】

目的と概要

地元物産振興に寄与します。

従来の取組に加えて、会員や他団体等とより積極的な連携を行い、鳥取市ふるさと物産館のほかに会員のための販売コーナーを設けることができるか検討します。

(1) 店頭・卸売販売の促進

新規物産事業者の勧誘を行います。

鳥取市ふるさと物産館の販売促進を図るため、1時間無料の駐車券サービスの対象を購入金額2,000円以上から500円以上に試験的に引き下げます。

(2) 物産情報の発信

県内外のイベント、コンベンション等で出展販売を実施し、地元物産のPRを行います。
地元物産品の魅力紹介及び販売促進のため、各種催事やイベント等を積極的に実施し、SNS、インターネットショップ等でPRを行います。

(3) カタログギフト等の企画及び販売

令和3年度に製作した地元特産品カタログギフト「TOTTORI CHOICE (トットリチョイス)」について効果的な広報を行い、認知度の向上及び販売拡大を図ります。

(4) SNS投稿プレゼントキャンペーンの実施

<キャンペーンの実施方法>

鳥取市ふるさと物産館の公式SNS (Instagram) アカウントをフォローし、鳥取市のお土産・特産品の写真やコメントにハッシュタグをつけて投稿して応募した方に鳥取市の特産品をプレゼントします。

実施時期：第1期4月～7月、第2期8月～10月の2回に分けて実施

賞品内容：抽選で各期100名に50万円相当（総額100万円相当）の特産品をプレゼント

(5) 販路拡大に向けた取り組み

集客力の高い砂の美術館や道の駅等の観光施設や商業施設等との連携を進めていきます。

【とっとり市】

目的と概要

麒麟のまち圏域の物産振興に寄与します。

キャンペーンを通じて、より多くの事業者の物産振興に寄与できるよう、出店者拡大に取り組みます。

(1) とっとり市の運営

インターネットショップ「とっとり市」の管理・運営を行い、新規出店者の獲得及び既存店舗への支援を行います。

(2) とっとり市の販売拡大の取り組み

30%オフ・送料無料キャンペーン等による年間を通したキャンペーン事業を実施します。

【組織運営】

目的と概要

職員のスキルアップや部門間の連携、理事の協会運営への参画を増やす取り組みをします。また、協会価値向上のため、お客様の満足度を更に高めるため、それを実現する職員の満足度の向上に努めます。

会員、理事、職員を繋ぎ、より大きな力を生むことを意識した組織運営を行います。

(1) 職員のスキルアップ研修

職員研修等の教育訓練を充実させるなど、職員の満足度や意欲の向上を目指します。

(2) 職場環境の整備

有給休暇取得を促進し、福利厚生を充実させます。
試験的に実施している職員人事評価制度を確立します。
同一労働、同一賃金の観点から嘱託職員の待遇改善に努めます。
新たに正職員登用規程の制定を目指します。
コンプライアンスに努めるとともに、ハラスメントのない職場を目指します。
既存のコンプライアンス・ハラスメントの相談窓口について必要に応じて見直します。

(3) 会員研修の実施

過去の会員研修のアンケートを参考にしながら会員研修を実施します。

(4) 協会運営を協会会員に周知

令和3年度に策定した協会組織ビジョン及びミッションに基づいた事業の進捗状況の報告や中間期末評価の実施方法を説明します。
事業価値向上の取り組みについて、会員からの意見を反映する工夫を行います。

(5) 組織力の強化

組織力強化のために、理事会が協会事業の理解を深め、効果的な提言がもらえるような体制を作ります。
中期的に協会を支える人材を育成していきます。
理事会で委員会の役割を明確化し、活発な委員会を行うことで事業価値向上に努めます。
令和3年度設置した行動計画チームを継続設置し、協会価値向上を確実に実施できるよう、活動を行います。